

平成23年度(2011年)

夏季研修

- ・訪問地→中播磨方面
- ・訪問日→6月21日

■訪問先

- ①神河町「地域振興課」
- ②市川町「牛尾農場」
- ③福崎町もちむぎのやかた

水車が稼働する
のどかな田園風景
のなか、きれいな
水にしか咲かない
可憐な梅花藻
守るべき日本の
原風景



課外研修(平成23年6月21日)中播磨方面・福崎町
もちむぎのやかた前・3班



①新野の水車



①バイカモ



課外研修(平成23年6月21日)中播磨方面・市川町
牛尾農場・鶏舎前

忘年研修(一泊)

- ・訪問地→但馬方面
- ・訪問日→12月20、21日

■訪問先

- ④朝来市物部営農組合
- ⑤高本農場視察
- ⑥朝倉山椒栽培地視察
- ⑦豊岡農林水産振興事務所

青葉から白根まで
食べられる岩津ねぎ
は朝来市の特産品で
ルーツは九条ねぎの
種子から始まる

※つばきの旅館→宿泊先



神戸シルバー大学院・但馬方面研修旅行(2011.12.19~20)
つばきの旅館



④岩津ねぎ



④村おこしセンター



⑤高本氏の「米粉加工品」
説明
昼食「高中そば」



⑥朝倉山椒
城崎街風景



平成24年度(2012)

夏季研修

- ・訪問地→丹波方面
- ・訪問日→6月22日

■訪問先

- ①有機農家「酒井圃場」
- ②真南条営農組合
- ③篠山市役所
- ④城東小学校

城東小学校の食育に取り組む姿勢が十分に理解できた
きちんと食育教育がなされると礼儀正しい人間形成ができることを実感した



昼食処「特産館 ささやま」



①酒井圃場見学



①圃場



②真南条営農組合



③篠山市役所



④小学校正門



④3年生が栽培したお茶

忘年研修(一泊)

- ・訪問地→西播磨方面
- ・訪問日→12月17、18日

■訪問先

- ⑤赤穂市漁業協同組合
- ⑥周世ふれあい市場
- ⑦有年あか穂の祭り
- ⑧上月農産物加工施設
- ⑨土万ふれあいの館

※宿泊先→笹が丘荘



⑤ふっくらとしたかきの身

益々過疎化の波に曝され苦戦する地域の生活研究グループの代表者達! ⑥・⑦



⑤赤穂漁港



⑤かき直売所



⑥「周世ふれあい」の古林氏



⑦「あか穂の祭り」の松田夫婦



笹が丘荘前(5期生~10期生)



⑨館長の説明を聞く院生

9-2 SGS海外研修 韓国の農業事情を知る

保田先生の長期に亘る韓国留学生への親身になってのお世話の結果、その学生さん方も今は自国で中堅どころで活躍しておられ、その絆は広く長く繋がっています。

SGS生にとっても隣人である韓国を、実はほとんど把握できていないのが実情で、海外研修として韓国を知り、生で交流できる機会を作ってくださいました。

SGSが立ち上げられてから10年の間に4回の韓国研修旅行が実施されました。

1) 第1回目 2005年10月28日～31日 11名参加

原州市尚志大学校運営の老人総合福祉館を訪問し歓迎を受け、地域のお元気なシルバーの皆さんによる、軽音楽演奏、社交ダンス、古典舞踊などのパフォーマンス観賞、歓迎交流会、保田先生と金龍淵先生の日本語での交換授業を受講、一般家庭に分散してホームステイ（テーブルに溢れんばかりのご馳走接待！）、忠州のお寺にて地元農家のみなさんに保田先生の有機農業講義がありました。



2) 第2回目 2007年6月8日～11日

11名参加

光州無等山自然保護団体協議会を訪問し大歓迎を受け、歓談交流。

光州事件の記念館、光州の竹産業、酒造工場など見学、ソウルにてカトリック農民会とドウレ生協で韓国の有機農業運動の実情を学習、今回はサムゲタンを2度も食することができた。



3) 第3回目 2008年10月27日～29日 10名参加

京畿道八堂地区の八堂生命共同体有機農場にて研修、交流。1回目と同じ原州老人福祉館を訪問、歓迎交流会。

ソウルにてドウレ生協本部、店舗見学。現地での大歓迎による昼食会への招待へのさやかな謝意を込め、円高の影響により予算が余ったため、出来上がったばかりの図書館の書架に空席が目立ったので、農業関係の書籍を購入のために寄付をさせていただきました。



4) 第4回目 2009年11月23～25日

11名参加

濟州島での和歌山から移植された温州みか
が韓国でのシェアを占めており、ドウレ
生協の支援を受けた無農薬栽培みかん農
家を訪問、甘くて美味しかった。

日本の陸軍が海岸沿いに作った洞窟基地
跡、また陸軍が馬を残して引き揚げた後
の馬牧場など見学。

九州は見えませんが素晴らしい夕日を見る
ことができました。



以上何れの回も、保田先生がお世話された元留学生のみなさんが、はじめからしまいまでお世話
くださり、先生が長年に亘り培われた繋がり
と信頼関係を目の当たりにしました。そ
して先生が

教示、指導された有機農業の考えもまた確実に彼らの生活に根付き、韓国で花開き、更にそれをひろげていこうという皆さんの情熱に感動しました。

2006年1月には原州の25名のみなさんが来日され、10日間神戸を中心にあちこちの福祉施設見学をされ、SGS生との交流会もありました。



また元留学生のみなさんは頻りに神戸に来られて、日本の農業を考える発信場、ぼんぼりりんでの交流や滞在中のお世話を保田先生が引き受けておられます。

国と国のミゾを埋めるのは、民間レベルの交流を通じての相互理解がいかに大切であるかを知ると共に、私たちシルバー世代は次世代のためにも、他国との関係を険悪なものにするような無責任な行動をとってはいけないと思い知らされました。

保田先生の後ろ姿を見て育つSGS生として、このような機会をくださり、あらためて先生に感謝申しあげます。

(文 3期生 徳原 尚世)

(写真 4期生 鍋島 隆)